

「平成31年度に実施した仕事」の振り返りシート（A：裁量有）

記入日 令和 2 年 7 月 1 日

事業名称		財産管理事務費 [庁用自動車管理事務事業]						
予算科目	款 2	総務費	項 1	総務管理費	目 6	財産管理費	事業番号 3	
事業の種別	<input type="checkbox"/> 市単独 <input checked="" type="checkbox"/> 補助対象 <input type="checkbox"/> 市が実施することが法律等で義務付けられているもの(市の上乗せあり)							
担当部署・課長名	総務管財		課		用地管財	係	課長名 岩本 尚史	
この仕事は、どの【施策】の課題を解決するための手段ですか。						施策番号	行 - 2	
【施策名】 効率的でスリムな行財政運営の実現						総合計画書 (ページ)	122	
1 この仕事の目的	① 誰(何)を対象にしていますか。 集中管理車及び総務管財課専用車(用地車を除く)			① ①の対象数や量を、あらわすもの(対象指標) 車両台数				
	② ①をどのような状態にしたいのですか。[簡潔に] 適正な維持管理 確実かつ効率的な配車			② ②の状態になった数・量をあらわすもの(成果指標) 集中管理自動車実稼働率(開庁日の10時と14時で実際に使用されている集中管理自動車台数/集中管理自動車台数)				
	③ そのために何をしましたか。 ①定期点検・車検の実施 ②修繕の実施 ③車両の更新 ④バスの運行委託及びタクシーの借上等を行い、各課の申請に基づきバス・タクシーを配車する。 ⑤燃料補給、洗車等の維持管理業務 ⑥自動車保険(任意)の加入・解約・請求手続きを行う(各課所管車両含む全庁用自動車)。			③ ③をどのくらい行いましたか(活動指標) ①定期点検・車検の実施台数 ②修繕件数 ③車両増加台数 ④使用件数 ⑤燃料補給回数 ⑥加入・解約台数				
2 指標の推移			単位	過去2年間の実績		当該年度	成果目標	
				平成29年度実績	平成30年度実績	平成31年度実績	令和2年度目標	令和3年度目標
	対象指標	①の数値	台	29	28	30		
	成果指標	②の数値	%	48.8	49.1	44.3		
	目 標	②の目標値	%	100	100	100		
		目標値設定の考え方						
活動指標		③の数値	①台	27	26	26		
			②件	14	13	8		
			③台	0	3	4		
			④件	78	76	73		
			⑤回	510	464	397		
			⑥件	83	82	84		
3 経費	事業費(実績)		円	13,105,906	21,722,571	25,661,417	※人件費の所要人数は、基本的には「人」で表わしますが、一時的な仕事については時間数での表示も可とします。その場合単位を「時間」に変更してください。 人件費(再任用職員以外) 年間単価は、8,310,000円 時間単価は、4,300円 で計算してください。 【算出根拠】平成30年度決算数値。 (退職手当組合負担金、共済費も含む。)	
	一般財源		円	13,105,906	21,722,571	16,558,417		
	特定財源		円	0	0	9,103,000		
	(うち受益者負担)		円	0	0	0		
	人件費(再任用以外)		人	0.3	0.3	0.3		
	人件費(再任用)		人	0.0	0.0	0.0		
職員人件費(再任用以外)		円	2,473,200	2,473,200	2,493,000			
職員人件費(再任用)		円	0	0	0			
事業費+人件費		円	15,579,106	24,195,771	28,154,417			
4 環境変化等	(1) 開始年度		不明 年度					
	(2) 環境の変化		庁用自動車の効率的な運用のため、自動車の集中管理を開始したことによる。 各課の事務事業を円滑に遂行する手段として、集中管理車及び総務管財課専用車を適正に管理し、効率的に運用を行うことが目的である。 平成31年度までに、電気自動車5台(集中管理車)を導入した。					

事業名称	財産管理事務費 [庁用自動車管理事務事業]			
担当部署・課長名	総務管財	課	用地管財	係 課長名 岩本 尚史

5 市民等の意見	この仕事に関して、平成31年度中に寄せられた市民・議会等の意見、また、市民・サービス利用者等の実態やその意識について	
	ドライブレコーダーの設置等について、市議会的一般質問で要望があった。	
6 市民協働	(1)この仕事の実施にあたり、市民協働に取り組みましたか。取り組んだ場合、取組手法欄の種類から番号を選択し、取組手法欄に番号を記載してください。（複数回答可）	
	<input type="checkbox"/> 取り組んだ <input checked="" type="checkbox"/> 取り組まない	取組手法： 【取組手法の種類】 ①共催 ②実行委員会・協議会 ③事業協力 ④事業委託 ⑤補助・助成 ⑥情報提供・情報交換（広報媒体： ） ⑦後援・場の提供 ⑧その他（ ）
	(2)令和2年度に向け、さらに適した協働の形態とするために「考え」「気付いた」点	
7 課題	(1)平成31年度に課題とした内容（「平成30年度に実施した仕事」の振り返りシート7課題（3）を転記）	
	電気自動車については、導入に対する手厚い交付金制度があるが、維持管理に係る経費の詳細が不明なため、適正管理が課題となる。	
	(2)(1)の課題解決に向けた取組や、事務改善など、平成31年度に実施したこと。	
	維持管理に係る経費を試算し、電気自動車4台を購入した。 電気自動車の使用を拡大するため、基本性能について周知した。	
8	(3)(2)を踏まえた今後の課題（仕事の最適化・合理化の提案）	
	電気自動車を令和2年度にも購入予定のため、電気自動車の稼働率をあげていく必要がある。	
9 今後の方向性	8 施策貢献状況（この仕事は、総合計画（基本計画）に掲げる課題の解決手段になっているか。）	
	施策名： 効率的でスリムな行財政運営の実現 <input checked="" type="checkbox"/> なっている <input type="checkbox"/> 環境の変化等により成果が減少している <input type="checkbox"/> 類似の事業が他にあり改善の余地がある（事業名： ）	
9 今後の方向性	(1)仕事の方向性（「7 課題（3）」の課題及び「8 施策貢献状況」を踏まえた具体的な改革・改善案など）	
	<input checked="" type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止 【取組内容】 ・長期的な更新計画にもとづき、車両の買い替えを定期的に行う。 ・システムによる予約申請のルール徹底。 ・電気自動車等の環境負荷の少ない車両の導入台数の増加。	
	(2)上記(1)の取組にあたり、克服すべき問題点、必要な調整・準備等 ・定期的な車両の買い替え（可能な限り、環境負荷の少ない車両）に要する予算の確保 ・予定変更等に伴い不要となった車両の予約について、こまめにシステム上の削除・時間修正するように周知徹底を行う。	